



関目の目

第14号

平成26年3月12日

★関目から世界へ★

〜一味違ったおつかい企画〜

3月1日(土)、一雨ごとに暖かさを感じるなか、大阪商工会議所、関目商店街振興組合、関西大学政策創造学部深井麗雄ゼミ商売研究班の三団体は、「おつかい企画」を開催しました。今にも雨が降りそうな雲行きの中、子供たちの元気な声が関目商店街のアーケードに響き渡りました。今回は、関目東小学校の国



際教育に着目し、大学生が作成した独自の世界マップを見ながら自分たちで家族に贈るプレゼント(お土産)を500円以内で購入し、最後に商品に絡め

た問題を解いてもらい景品を手に入れるという企画です。狙いは、大阪の小さな商店街も世界中の国々と繋がっているということを見してもらうこと、商店街に親しみをもってもらうことです。準備として、大学生が関目東小学校でどのように商店街が世界各国と繋がっているのかを説明する出前授業も行いました。

★店主さんの声★

企画後にフロンテラコーヒーの店主である塚田宏一郎さんにお話を伺いました。「この企画に参加した一番の思いは、インスタントのコーヒーで満足するのではなく、当日、店で挽いたコ



ーヒーを飲んで本物の味を実感してもらいたいから。そこから、お店に行きたいと思ってもらえたら幸いだね」。さらに、当日の子供達に関しては、「家族のために、というお手軽な食べ物などを選びそう

だが、親がコーヒーを好きだと知って、それをプレゼントするとは、今の小学生も隅におけないね。きつと子供たちにとっても意義のある時間だったはず」と笑顔で語ってくれました。

★関目東小学校の先生から★

当日にわざわざ足を運んでくれた大阪市立関目東小学校の東口貴彰先生にお話しを伺いました。「上手く商店街と子供たちの学習がリンクしていて面白いと思いましたね。出前授業の時も普通の授業ではないこともあり、みんなわくわくしていましたよ。企画当日も早い時間から友達同士で集まってお祭り気分

で盛り上げていましたね。企画中は、一対一の接客ということもあり緊張している子供も見受けられたけどみんな楽しそうでした。きつと学べたことも多かったはずですが、これから



★ 作文紹介 ★

企画後には、参加してくれた子供達に対して①なぜ、その商品を家族にお見上げとして買ったのか②家族にプレゼントしてみて、どんな反応だったか③国とのつながりで一番びっくりしたこと④商店街の人との関わりについての視点で作文を書いてもらいました。それぞれの作品に賞を贈りました。その中でも特に優秀な作品の三つをここで紹介していきます。

最優秀賞

「お花やコロッケが好きだ」

5年2組 中村 海偉

講評：ユーモアを交え、微笑ましい家族を上手く捉え最高のプレゼントになりました。企画中もしっかり商店街の人と関わり、その優しさにも触れて、よかったね！！

お花やコロッケが好きだ	五年二組	中村	海偉
ぼくが買った商品は、デンファレという花			
とコロッケを二つ買いました。その買った理			
由は、お父さんとお母さんが、たまにけんか			
をするので仲良くしてほしいからであと、お母さんは花			
が大好きだからです。コロッケは、晩ご飯に			
よくコロッケがでるからです。			
家族にプレゼントしてみると、この花は見			
たことあるけど、花の名前と花言葉は始めて			
しやたわじといっていました。コロッケは、			
肉のまん田で始めて買ったけど、やっぱり			
のコロッケもおいしいなあといっていました。			
国とのつながりで一番びっくりしたことは			
コロッケです。コロッケはフランスでつくら			
れたのは家族でびっくりしたからです。			
肉のまん田ではやさしく声をかけて、わたし			
てくれたことで、坂田生花店では、時間をか			
けずにわたしてくれたことでした。			

できれば、また是非やりたいです」と話してくれました。

★フェアトレードチョコ屋さん★

2月12日(水)には、「広げよう 国際理解を 関目から!」小学生による小さな商店街のフェアトレードチョコ屋さん」を行いました。本企画は、国際理解を大きなテーマとする、大阪市立関目東小学校と関目商店街とのタイアップ企画で、小学校教員、商店街、関大生が協力して行いました。

そこでは、小学生によるフェアトレードチョコの販売、古着・文房具の回収、これまでの学習の発表が関目商店街で行われました。企画当日はたくさんのお客さんが訪れ



てくれ大変盛り上がりました。



★まとめ★

今回の企画は、国際教育の一環として2月12日の「フェアトレード企画」から携わるようになり、出前授業の場も設けていただいた関目東小学校、企画を行うという事で特別価格での商品の提供やその他の準備に手伝っていたいただいた商店街の方々のおかげで企画が成り立ちました。最後に私たちはこの企画を通じて、小学生の家族に対する暖かい思いやりと懸命に大人への階段を上ろうとしている小学生の姿を感じることができました。私たちもそんな姿に刺激をもらいもつと学びたいと思います。

発行♥関西大学政策創造学部
深井麗雄ゼミ 商売研究班
上村彩由里 (☎: 090-5655-7372
Mail: k281451@kansai-u.ac.jp)
萩之内祐哉・片伯部朱音・辻野光・
横内真一